（別紙4（2））

事業所名　グループホーム桜塚オアシス

作成日：平成　23　年　5月　30　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	Ⅰ	重度化や終末期に向けた話し合いによる方針は検討されているが、看取り指針・同意書の作成が、出来ていない。	看取り指針を設定し、ご本人・家族に説明し看取り指針を文章化する。 関係者全員で方針を共有する。	重度化、終末期に対するホームの指針を文章化し、本人やご家族に説明して同意書を作成し,署名、捺印を頂く。又職員も方針を共有し支援に取り組む。	6ヶ月
2	Ⅱ	災害時に備え、水や懐中電灯などが準備されていない。 昼夜を問わず入居者が避難できる方法を確認し、身につける必要がある。	年2回の避難訓練だけに限らず、色々な状況を想定した訓練を通して、入居者が安全に避難出来る様な方法を身につけて行きたい。	ペットボトルの水を備蓄。懐中電灯は各階に設置。電池の準備もしておきたい。地域住民の協力体制については、ホームに閉じこもらず外に出て、認知症近所の方々とも久しい関係を築き、非常時に備えたい。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。